

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
1. 金融資産運用設計の意義								
(1) ファイナンシャルゴールと目標	●金融資産を使って顧客のファイナンシャルゴールを決定するプロセスと、その意味を充分理解し、説明できる。	c						
(2) 総資産ポートフォリオとマネーポートフォリオ	●不動産などを含むすべての資産を対象とする「総資産ポートフォリオ」と金融資産の組み合わせを考える「マネーポートフォリオ」を理解し、説明できる。	b						
(3) 金融資産運用設計の概要	●金融資産運用設計を行うための基本的な流れや金融商品の選択基準について理解し、説明できる。	b						
(4) 分散投資の重要性	●分散投資について基本的なことを理解し、説明できる。	c						
2. 経済・金融の基礎知識								
(1) 経済・景気動向の把握	●国内外の経済・景気動向の把握のために以下のことについて基本的なことを理解し、説明できる。 ・経済成長率 ・国内総支出 (GDE) ・国内総生産 (GDP) ・景気動向指数 ・日銀短観、業況判断DI ・景気循環 ・物価の内容、物価指数 ・マネーサプライ ・個人消費関連統計 など	b			[3]		21	21,[4]
(2) 金融市場と金融政策	●金融市場の仕組みや分類、金利の役割・機能、金利の種類、金利決定の仕組みについて理解し、説明できる。 ●金融政策・財政政策の役割や手段について理解し、説明できる。	b	21,[3],[5]	21,[3]	21	21,[4]	22	
(3) 為替動向の把握	●さまざまな為替の変動要因について基本的なことを理解し、説明できる。	b	21					22
(4) 預金者・投資者・保険契約者に対する保護	●預金保険制度 (農水産業共同組合貯金保険制度) ・投資者保護基金制度・保険契約者保護機構について基本的なことを理解し、説明できる。 ●郵便貯金の安全性について説明できる。	a	27		22	[36]		30
(5) 関連法規	●消費者契約法と金融商品販売法および金融商品取引法などについて基本的なことを理解し、説明できる。	a	30	30	30,[2]	30	30	[3]
3. 流動性預金と定期性預金								
(1) 金利と利回り	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・利回り (単利、複利、直利) ・所有期間利回り ・内部収益率 (IRR) ●また係数表の各係数の見方を理解し、その数値を用いた計算ができる。	a						
(2) 流動性預金	●流動性預金の商品性に関する基礎知識 (種類、固定金利、変動金利など) があり、説明できる。	a	22		22	[7]		
(3) 定期性預金	●定期性預金の商品性に関する基礎知識 (種類、固定金利、変動金利、預入期間、単利、複利、換金性など) があり、説明できる。	a	22		22	[7]		
(4) 外貨預金	●外貨預金の商品性に関する基礎知識があり、説明できる。	b	[36]			[7]	28,[29]	[37]
(5) 税金	●流動性預金、定期性預金、外貨預金に関する税金について理解し、説明できる。	b	[31]					
(6) 非課税貯蓄制度	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・マル優制度 (障害者等の非課税貯蓄制度) ・財形貯蓄制度	a						
4. 信託								
(1) 金銭信託	●金銭信託に関する基礎知識 (指定金銭信託、貸付信託、特定金銭信託、ビッグなど) を理解し、説明できる。	a						
(2) 金銭信託以外の金銭の信託		-						
(3) 税金	●信託に関する税金について理解し、説明できる。	c						
5. 債券								
(1) 債券の基礎	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・債券の種類 (利付債、割引債、公共債、民間債、外債、個人向国債など) ・取引に関する事項 (店頭取引、売買単位、利払い、デリバリーなど)	b	24	[5]	[6]	24	24	24,[29]
(2) 債券投資の分析	●単価と利回りの関係について基本的なことを理解し、説明できる。	a	25,[6]	24		24	[3]	
(3) 債券投資のリスク	●リスクの種類と格付けについて、基本的なことを理解し、説明できる (デフォルト、途中償還、流動性など)。	a				25		
(4) 外国債券	●外国債券の基本的な仕組み、取引の仕方について理解し、説明できる。	b	27		26		[4]	
(5) 税金	●内外の債券に関する税金について理解し、説明できる。	b	29			29		

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
6. 株式								
(1) 株式の基礎	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・株主の権利 ・株式の種類 ・単元株制度 ・株式市場の諸指標 ・取引に関する事項(保管振替制度、オンライン取引・受け渡し等を含む)	a	28	25,[4] [38]			25,26	25,28
(2) 株式の価値	●株式の評価指標について、基本的なことを理解し、説明できる。	b	26,[4]	26	25,[4],[5]	26,[6]	27	26,[7]
(3) 外国株式	●外国株式の取引について理解し、説明できる。	b			26		28	
(4) 税金	●株式に関する税金、一般口座や特定口座などについて理解し、説明できる。	a		29	29,[31]	29,[37]		
7. 転換社債型新株予約権付社債(転換社債)								
(1) 転換社債型新株予約権付社債の基礎	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・転換社債型新株予約権付社債の特徴(株式的価値と債券的価値) ・取引に関する事項	b						
(2) 転換社債型新株予約権付社債の評価及び投資技法	●転換社債型新株予約権付社債の評価指標(バリエイ、かい離率、利回り)について基本的なことを理解し、説明できる。	a						
(3) 税金	●転換社債型新株予約権付社債に関する税金について理解し、説明できる。	b	29					
8. 投資信託								
(1) 投資信託の仕組み	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・仕組み 証券投資信託(単位型、追加型) 会社型投資信託(オープン型、クローズド型) ・種類 株式投信、公社債投信、ETF(株価指数連動型上場投資信託)、REIT(不動産投資信託)	a		50	23,50 [10]	22,[28]	[5],[6]	[6]
(2) 投資信託の分類方法	●国内投資信託の下記の分類方法を理解し、各分類の特徴について理解し、説明できる。 ・投資対象による分類 ・運用スタイルによる分類 ・運用目的による分類	a	23	23	24	[7]	23,[28]	
(3) 外国の投資信託	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・仕組み ・その種類 ・国内投資信託との相違点 ・そのリスクとリターン	a			26		28,[4]	
(4) 投資信託の税金	●新証券税制を含めた内外の投資信託の税金について基本的なことを理解し、説明できる。	a	29,[31]	29	29	29,[5]		
(5) 投資信託のディスクロージャー	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・目論見書 ・運用報告書	a			24	23		
(6) 投資信託の実務知識	●投資信託の価額や売買の際の計算方法について理解し、説明できる。 ●投資信託に関する費用として販売手数料量・信託報酬・信託財産留保額などについて理解し、説明できる。	a		22				[5],[31]
(7) 投資信託の選び方	●投資信託の情報収集方法や投資信託の評価情報の活用方法を理解し、説明できる。	a						
(8) その他の投資信託に関連する事項	●投資信託と年金制度との関連について理解している。 ●投資信託と変額年金保険の違いを理解し、説明できる。 ●証券総合口座やラップアカウントなどといった投信を活用したサービスを理解し、説明できる。	a						
9. 積立貯蓄の基礎								
(1) 積立貯蓄の概要	●積立貯蓄の効果(ドル・コスト平均法)や概要などについて基本的なことを理解し、説明できる。	b						
(2) 積立型商品	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・積立式定期預金 ・自動積立定期預金 ・定期積金 ・自動積立定額貯金 ・教育積立貯金 ・住宅積立貯金 ・住宅債券積立制度(つみたてくん) ・ミリオン ・株式累積投資制度(るいとう)	b						

学習項目	AFP知識・技能	※	2009年 5月	2009年 9月	2010年 1月	2010年 5月	2010年 9月	2011年 1月
10. 派生商品								
(1) 派生商品の概要	●派生商品(デリバティブ取引)の意義と特性について理解し、説明できる。	b						
(2) 先物取引	●先物取引の概要について理解し、説明できる。	c	28					
(3) オプション取引	●オプション取引の概要について理解し、説明できる。	c	28		27			
(4) スワップ	●スワップの概要について理解し、説明できる。	c						
11. その他の金融商品								
(1) 金投資の基礎知識	●金に関する基礎知識(金地金、金貨、純金積立、取引に関する事項、取扱機関)を理解し、説明できる。 ●金に関する税金を理解し、説明できる。	c						23
(2) 商品ファンド	●代表的な商品ファンドの種類、税金を理解し、基本的なことを説明できる。	c						
(3) 抵当証券	●抵当証券の基礎知識を理解し、説明できる。	c						
(4) 証券化商品	●証券化商品(不動産投資信託など)の基礎知識を理解し、説明できる。	b						
(5) 外国為替証拠金取引	●外国為替証拠金取引(FX)の概要、税制について理解し、説明できる				26.[32]			
12. ポートフォリオ理論								
(1) ポートフォリオ理論の基礎	●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・期待収益率 ・標準偏差 ・効率的市場仮説	b		28	28	28	29	[29]
(2) ポートフォリオの組み方とパフォーマンス計画	●ポートフォリオの組み方について基本的なことを理解し、説明できる。 ●リスクとリターンによるポートフォリオ評価の基本的なことを理解し、説明できる。 ●アセットアロケーションの重要性を理解し、説明できる。	b		27		27		
13. 情報の収集と判断方法								
(1) 金融・経済情報の入手と判断方法	●金利、為替、経済指標などの過去、最新の情報を入手するルートを知っており、判断ができる。	a						
(2) 金融商品情報の入手と判断方法	●金融商品やマーケットの過去、最新の情報を入手するルートを知っており、判断ができる。 ●以下の事について基本的なことを理解し、説明できる。 ・格付情報 ・会社四季報などの見方 ・日経新聞の読み方	a		[6]				